



音野舎だより

令和6年10月

88

みなさま ごきげんよう

今年も『敬老の日』のお祝い行事を事業所ごとに開催しました。感染症予防の為、ご家族の皆様をご招待して共に喜び合うイベントがなくて寂しい思いは、ご家族も私達職員も痛切に感じております。

このような有様でも各事業所では競うように企画がなされました。その様子は、かねてとは違い展示物が押え館内に音楽が流れて何となく特別な日の到来を感じさせます。ましてやこの時に合わせるかのようにLED電気への変更設置工事が完了して、まるで披露宴会場のような明るさがあふれていました。準備に努力をした結果はご利用者の満面の笑顔とみんなで歌う唱歌。マイクを向けるとびつくりするような力強さでした。また思い出話を披露していただいた時間でした。

最後はヤクルト会社様から提供されるヤクルトで乾杯。今年の一暮は終わりました。私自身も十分に敬老会の一員になっております。共に祝っていたお礼と喜びを持ってご挨拶と報告と致します。

追伸 十二月はクリスマス会の開催予定です。合同で出来ますことを祈ります。

園長 山内 知枝

敬老会

九月十四日、特別養護老人ホームで敬老会を開催しました。令和六年度に米寿と百寿を迎える利用者様を紹介し皆さんで長寿を祝いました。余興では、職員による二人羽織から始まり、綺麗に？お化粧していく姿を見て皆さん大笑いでした。

次に利用者職員が一体となって、合奏&合唱を楽しみました。季節の歌として、「もみじ」や「みかんの花咲く丘」、懐かしの名曲として「ラハワル小唄」や「とんがり帽子」等、全部で八曲歌いました。いつも寡黙な利用者様が大きな声で歌ったり、普段、目を閉じている利用者様がぱつちりと目を開けて笑顔を見せて下さる等、音楽の力を肌で感じるひと時でした。最後は皆で「おはら節」を踊りお開きとなりました。

笑って、歌って、踊って、これからも利用者の皆様が元気で過ごされる事を願っています。

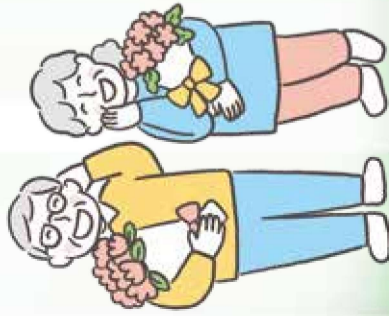


青木ハツ子様 百寿祝い

特別養護老人ホームの青木ハツ子様が百歳を迎えられます。

いつも穏やかな表情をされながらゆつくりと過ごされています。

息子様や娘様が綺麗なお花を持って面会に来られ「母さん、ありがとね」と優しく声をかけてくださいます。「今を維持して出来るだけ長生きをしてほしい」というご家族の想いと共に、職員一同もハツ子様が一日でも長く穏やかに過ごして頂けるよう努めていきたいと思っております。



知覧の地より ～平和への願い～

☆大正15年生まれ H様

・学校には各県から集まった兵隊さんが来ていた。その人たちは知覧の地を飛び立つ前には豊玉姫神社に行きお祈りをしていた。私たちも、神社に行き、見送りをしていた。

・兄弟は戦争に行っていた。男手がないので、私が代わりに行っていた。トラックの荷台に乗り、力仕事（砂や土運び）を行っていた。

・お弁当を持って行っていたが、食べる頃にはネマッテいたのか糸を引いていた。それしか食べるものがないので、食べていた。今はそういうものを食べなくても何でもおいしい物を食べる事ができる世の中になっっているのが良い。

☆昭和元年生まれ T様

・自宅に火がついて家が燃えた。バケツに水を入れて消火をしたが間に合わなかった。新たに自宅を立て替えることも出来なかった。馬屋に住んでいた。子供や親を守らないといけないと思っていた。空襲警報がお屋敷ご飯を食べる時に鳴った。茶碗を持って防空壕に掛けこんでいた。

・今でも世界では戦争をしているところがある。ニュースを聞くと寂しくなる。戦争はしてはならない。

☆昭和2年生まれ K様

・学徒勤労員として名古屋に行っていた。自宅には、兵舎に入りきらない兵隊さんが寝泊まりをしていた。母が食事の準備などで忙しかったと聞いていた。

・知覧に戻り、結婚をするまでの間に知覧小と中福良小学校の先生をしていた。戦後は普通に授業が再開され、授業参観などもあった。満州から引き上げてきた子や、離島から引き上げて来た子もいた。靴がなく下駄を履いていた。戦争は終わったが、お金がなく靴を買えない子も多かった。

☆昭和9年生まれ T様

・終戦時は5年生でした。アメリカの飛行機が飛んで来たら土手に隠れていた。授業を受けていたら「空襲だ！」と叫び声が聞こえて学校の裏に穴を掘っていたのでそこに隠れていた。近くに飛行場があったので恐ろしかった。近所のおばさんが空襲で手がちぎれていた。防空壕も集落にあった。私の父は身体が小さかった。兵隊の検査に通ることがなかった。祖父は知覧の兵隊に行った。

・「戦争中の哀れは、とても残念なことだ」

・主食はからいもであり、御馳走であった。海治いに住んでいる人と、米と魚を交換していた。

☆昭和8年生まれ Y様

・飛行場が近かった。飛行機が飛び立つときには花を持って見送っていた。生きて帰ってこないと言われていたから、毎回見送るのが寂しかった。

発行

社会福祉法人 滴々会
高齡者総合福祉施設 音野舎(のんのしゃ)
〒897-0302
鹿児島県南九州市知覧町郡2072番地2
TEL 0993(58)7171 FAX 0993(83)4771
URL <http://www.nonnosya.com/>
E-mail info@nonnosya.com

編集後記

地球沸騰化」という言葉まで誕生するほど令和6年の夏はとて暑く夏となりました。夏に比べて少しは過ごしやす季節となりましたが皆さま、いかがお過ごしでしょうか。

近年の物価高騰に伴い経費削減の為に、本誌もペーパーレス化を考慮せざるを得なくなりました。今まで年3回の発行を行っていましたが、今後は年2回(春号・秋号)の発行となる予定です。また、音野舎ホームページもリニューアルする予定です。それに伴い、タイムリーな情報をお届けできるよう計画です。個人情報保護の厳しい時代ですので、十分に注意をしながら、ご利用者様の様子を今後もお伝えできればと思います。

らっきょうとお茶

昔を思い出しながら、らっきょうを漬ける作業を行いました。食べる日を楽しみに、みなさん気合いが入っております。おいしいらっきょうを漬けることができました。別の日に、お茶どころ『知覚』ということで、新茶を袋に入れる作業を行いました。その後、早速頂き『おいしい』との声も聴かれました。



納涼花火大会

八月に、グループホーム恒例の夏祭りを開催しました。提灯などを飾り、気分を盛り上げていきます。職員手作りのたこ焼きやかき氷を食べ、夕食後でしたが、みなさん完食されていきました。

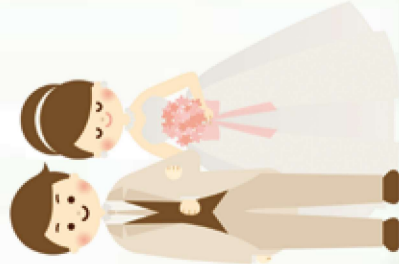
次は夏の風物詩、花火大会です。手持ち花火を行ったり、噴出し花火を見たりし、夏の雰囲気を楽しみました。『綺麗だー』と歓声が上がリ、笑顔で楽しむ姿も見られ、入居者様だけでなく職員もとても楽しめた夏祭りでした。



結婚式

お孫さまの挙式のライブ中継があり、他利用者と一緒に視聴しました。

軽井沢での挙式であったため、参列することは出来ませんでしたが、画面越しの新郎新婦の姿にとっても喜ばれておりました。



グランドゴルフ

まだまだコロナが収まりを見せない中、多機能ホームでは今年もグランドゴルフを行いました。規模を縮小しての実施でした。皆さんそんな事を感じさせないくらいとても楽しまれている様子でした。



七夕行事

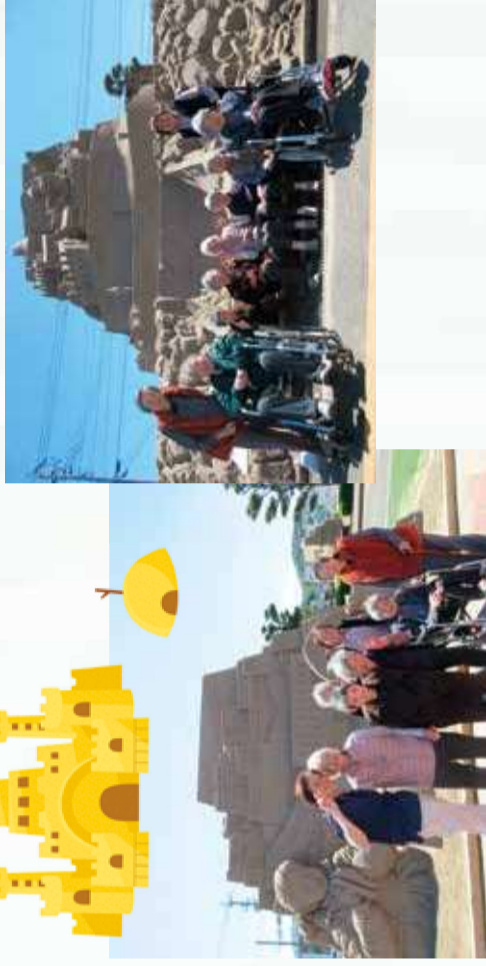
皆さん自身とご家族の健康や平和の祈りを込めながら、七夕のかざりつけをされていました。

立派な七夕かざりができました。



砂の祭典

立派な砂像に感動されていました。「何年ぶりかなあ？」と目を輝かせて喜ばれる姿を見て、また来年も皆さん一緒に見学にこられたらいいなと思いました。



水車カラクリ

豊玉姫神社で行われた水車カラクリを見に行きました。今年の演目は「浦島太郎」で、人形遣の細かな作りや動きを食い入る様に見た後、最後は手を叩いて喜んでいました。



父母の日

令和六年五月十八日父母の日行事を「アドバンス」の皆様をお招きして開催しました。懐かしい伴奏が流れると、アドバンスの方々の歌や演奏に合わせ、自然と口ずさんだり、手拍子をされ、楽しい一時を楽しまれた様子でした。最後にドレスアップされたケアハウスのご利用者による歌のプレゼントを行うと、アドバンスの方々も喜ばれていました。

コロナ以降はじめての合同での開催ということで、普段お会いできなかった親戚や友人と会うことができて、皆様声を掛けあい喜ばれていました。次回も皆様に喜んでいただけるように計画していきたいと思っております。



スイカ・ゴーヤ収穫

特別養護老人ホームの中庭で今年もゴーヤとスイカを育て美味しく食べる



ことが出来ました。ゴーヤは豊作でたくさん収穫し、栄養士が「ゴーヤの佃煮」を作り朝食のおかずになりました。甘辛く炊いたゴーヤに鰹節や胡麻を和えてお出しすると「美味しい」と評判でした。スイカは、3本苗を植えて一つしか実りませんでしたが、とても甘くて「また来年も植えようね」と皆さん喜んでいらつしやいました。



かき氷・花火

八月二十三日特養では、みんなでかき氷を食べました。皆様「おいしい！おかわり！」と皆幸せそうな顔で喜ばれていました。

かき氷の後は、部屋を暗くし、花火の映像を壁に映し出し、みんなで鑑賞しました。皆様「わっぜか！きれいだね」「音がよかしこ」と壁に映し出された映像をみて喜ばれていました。またみんなで夏を楽しみたいと思います！



結婚式

南田フミエ様がお孫様の結婚式に参列されました。お孫様が面会に来る度に、「結婚はいつ？」と楽しみにされていました。結婚式の招待状を受け取り、ご家族と職員も一緒に外出の準備をし、無事に結婚式当日を迎えることが出来ました。お孫様の綺麗なドレス姿に思わず涙がこぼれる場面もありましたが、終始笑顔で晴れの日を祝うことが出来ました。



ドライブ

『思い切って外出したいね』との声に始まり知覧町霜出の「ちゃぼっけん丘」に行ってきました。快晴ではありませんでしたが、風が強く、皆さんの髪が乱れて女性では黄色い声飛び交い、いつもにない大きな声が出ていました。開聞岳を背景に写真撮影をし、金峰山を眺めたりと広大な景色

に皆さん癒されていた様子です。



夏祭り

今年も夏祭りの季節がきました。今回は、屋台にある『たこ焼き』に見立て作成したこ焼き早入れゲームを行いました。「たこ焼きに見えなーい」や「美味しくなさそう」の声や「大きくて食べがいがあんだけど偽物だもんね」など色々な感想もいただきました。「いつか本物が食べたいね」としみじみと言われ、実現できるよう頑張ろう！と思う職員でした。



敬老会

九月十六日から二十一日の五日間で『敬老会』を行いました。職員が大物歌手に扮装して「東京からお呼びしました」の紹介に、本当に東京から来たのかと騙されてしまった方もいらつしやり、大笑いしていました。歌あり踊りあり、手拍子も弾み、とても賑やかなひとときになったのではないかと思います。

最後に今年『百歳』を迎える方もおり全員で盛大にお祝いをしました。手作りのプレゼントを手渡すと、皆さん喜ばれて職員も「頑張った甲斐があったね」とお互いに喜び合いました。これからも、皆さんが健康で過ごせますように！



県立南薩特別支援学校の実習生受け入れ

令和六年六月三日～六月十四日、高等部三年のSさんを「産業現場等における実習」という目的で受け入れを行いました。

二週間という長い期間の実習であり、本人は元より受け入れる側の私達も最初は不安がありました。実習開始までに学校側の担当者との打ち合わせ、本人、家族、学校、事業所との4者面談等を行なったことで、双方が実習の目的、要望、対応等を確認し合いました。

いよいよ実習開始、事前に実習計画書を作成し、計画書に添って実施していききました。最初は緊張の面持ちであり利用者も少し遠慮が見られましたが、徐々に慣れてこれら2週目に入ると頃は笑顔も多く見られました。

Sさんはコミュニケーションをとるのが苦手と聞いていましたが、最後の頃は自分から進んで挨拶されたり、自分から利用者のそばに行かれ話を聞いてあげたりと日に変わるSさんを見るのが私達も楽しみでした。

最終日は午後からお別れ会を開きました。活動の様子を収めた手作りのアルバムを差し上げ喜んでいただきました。会には担任の先生、施設長も参加して下さり、温かい気持ちに包まれ実習を終えられたSさんは充実感にあふれている様子でした。



ケアハウス

外食ドライブ

令和六年四月十一・十二・十三日と、三班に分けて、ジョイフル額産店にドライブを兼ねてランチに行きました。利用者さん、それぞれ好きな物を注文され、和気あいあいとお食事されていました。みんなと一緒に掛けられて楽しかった、また連れて行ってねと喜んで頂きました。食後は、近くの瀬平公園で、記念写真を撮ったり、あかつき舎でお土産を買ったりしました。



敬老会

九月十五日に、ケアハウスの敬老会をしました。今回はカラオケ大会。次々と懐かしい歌が流れてくるとみなさん口ずさんでいました。恥ずかしいのなかなか大きな声にならないので職員が手拍子、踊りで盛り上げます。

大声で笑い、かき氷、お菓子を食べてみなさん楽しい時間を過ごしました。

『来年も、元気で敬老会を迎えましょうね』という言葉でお聞きになりました。



初任者研修

南九州市での介護職員等確保対策事業の取り組みとして始まった、初任者研修の実習に携わらせていただきました。全くの未経験の方から、現在、介護施設で働かれている方など、九名の受講生が来られました。

皆さん積極的に支援をして下さり、ご利用者も会話を楽しまれていました。『一人一人としっかりと向き合う事が出来た』『生活スタイルに沿った支援がなされていた』『頼まれた買った物がしっかりと出来るか不安になった』等の感想をいただきました。今後、皆さんの活躍を期待しています。

